TAKARA & COMPANY

3分でわかる TAKARA & COMPANY

タカラ・アンド・カンパニー



東証プライム　証券コード：7921

TAKARA & COMPANY =持株会社です

「持株会社」とは、グループ全体の経営戦略を立て、まとめていく会社です。

TAKARA & COMPANYは「持株会社」として、**グループ各社の株式を所有**し、グループ全体をどういった方向性をもってどのように発展させていくのかといった**成長戦略の立案**を行い、**グループ全体の経営管理**を行っています。

持株会社ですと、グループ会社全体をひとつにまとめるための意思決定がスムーズになるというメリットがあります。

時代とともに変化するさまざまな社会のニーズに応じた事業展開を通じて、世の中に**“なくてはならない会社”**として、**グループ全体の持続的な成長**を実現しています。



売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益
311億円	44億円	33億円

ROE（自己資本利益率）	PBR（株価純資産倍率）	PER（株価収益率）
10.8%	1.19倍	11.4倍

※2026年5月期業績

グループ体制図

TAKARA & COMPANY

ディスクロージャー関連事業

- **宝印刷㈱**
  ディスクロージャー＆ＩＲ関連
- **㈱タスク**
  IPO実務支援コンサルティング
- **㈱スリー・シー・コンサルティング**
  システム開発
- **㈱イーツー**
  WEB制作
- **㈱ジェイ・トラスト**
  投信/外債の開示・PR支援
- **ディスクロージャー・イノベーション㈱**
  システム開発
- **㈱TSSコンサルティング**
  決算・開示支援コンサルティング

通訳・翻訳事業

- **㈱サイマル・インターナショナル**
  通訳・翻訳
- **㈱十印**
  翻訳

連結子会社

グループ会社数（連結）

21社

従業員数

1,284名

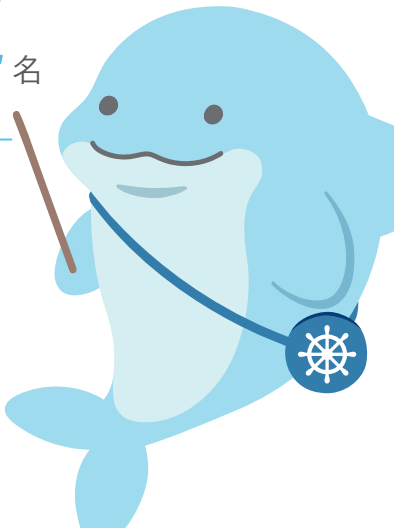
女性管理職比率

20.2%

男性育児休業取得率

100%

※2026年5月末時点連結ベース

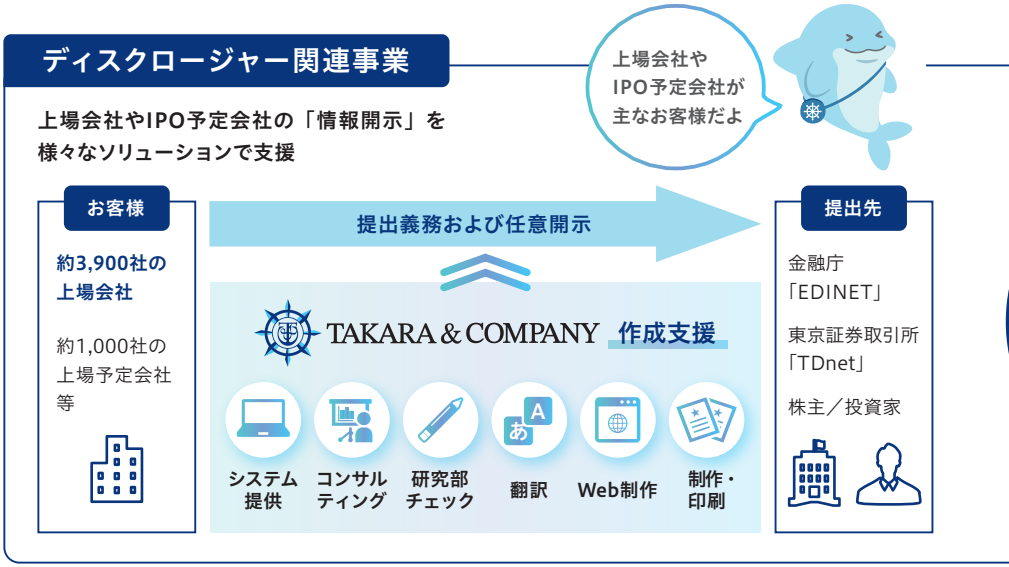


2つの事業セグメントで構成されています

TAKARA & COMPANYは、「ディスクロージャー関連事業」と「通訳・翻訳事業」の2つの事業を行っています。

“ディスクロージャー”とは、**“情報開示”**を意味しています。
「ディスクロージャー関連事業」は、**主要顧客を上場会社やIPO予定会社**としており、それらの会社が法律や証券取引所の規定に基づいて作成・提出が義務付けられている書類や、任意で作成する書類などをコンテンツ作成の部分からお手伝いしています。主なサービス内容は、システム提供、コンサルティング、研究部チェック、翻訳、Web制作などです。

「通訳・翻訳事業」は、**主要顧客が官公庁や国内外の事業会社**であり、高品質な通訳サービスと、訳語に訴求力を持った翻訳サービスなどを提供しています。



ココが強み！

ディスクロージャー（情報開示）に関する業務を<u>トータルサポート</u>しています。
全ての業務は繋がりを持って<u>一つのサービス</u>としてお客様に提供しています。







官公庁やグローバル企業向けに高品質なサービスを提供しているよ

通訳・翻訳事業

官公庁やグローバル企業等の「言語によるコミュニケーション」を深化

㈱サイマル・インターナショナル
通訳　翻訳　機材　派遣事業
遠隔同時通訳システム

官公庁
グローバル企業
国内事業会社

TAKARA & COMPANY

㈱十印
翻訳
トランスクリエーション（訴求力のある翻訳）
AI翻訳システム
ローカライズ（地域化翻訳）

お客様

国内および海外の事業会社

コーポレートブランドメッセージ「Tech Driven Value for Growth」を掲げ、売上高500億円を目指す

Vision2030

当社グループは、ディスクロージャー&IR領域でOnly oneのTech Driven型ディスクロージャー&IR企業群を目指し、代替の効かない唯一無二のパートナーとしての地位を確立します。

成長戦略

当社グループの主力製品である、統合型ビジネスレポートシステム**「WizLabo（ウィズラボ）」**へのAI実装をはじめとする機能強化に加え、コンサルティング、翻訳、Webサービス事業などの関連領域に注力します。さらに、M&Aを活用したブランディング事業などの新領域へも視野を広げ、これらの取り組みを通じてグループ一体感を醸成し、全社一丸となって目標達成に邁進していきます。

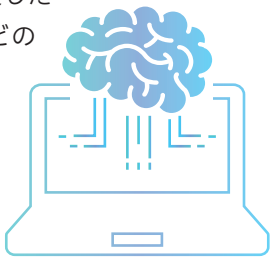


中期経営計画2029			
	2027年5月期 業績予想	2028年5月期 計画（目標）	2029年5月期 計画（目標）
売上高	342億円	391億円	500億円
内訳：ディスクロージャー関連事業	252億円	302億円	407億円
内訳：通訳・翻訳事業	90億円	89億円	93億円
営業利益	49億円	58億円	82億円
営業利益率	14.3%	14.8%	16.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	35億円	41億円	57億円
ROE	10.5%	11.8%	15.3%

AI技術の社会実装を加速し、ビジネスの新たな価値を創造

専門性の高いパートナー企業とのシナジーを最大限に活かし、
AIを活用した革新的なサービスを展開しています。

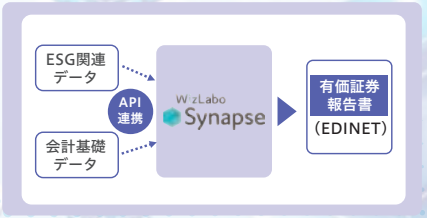
財務・非財務情報を一元管理する新商品「WizLabo Synapse（ウィズラボ シナプス）」のほか、研究部ノウハウを結集した「記載・数値チェック」、「内部統制評価」、「AI翻訳」などの機能をWizLaboに搭載。
単なる効率化に留まらず、業務負担の軽減とミスの撲滅によって生み出された時間とリソースを、
より創造的な業務へとシフトさせることで、
お客様の持続的な成長に貢献します。



財務・非財務情報の一元管理
WizLabo Synapse

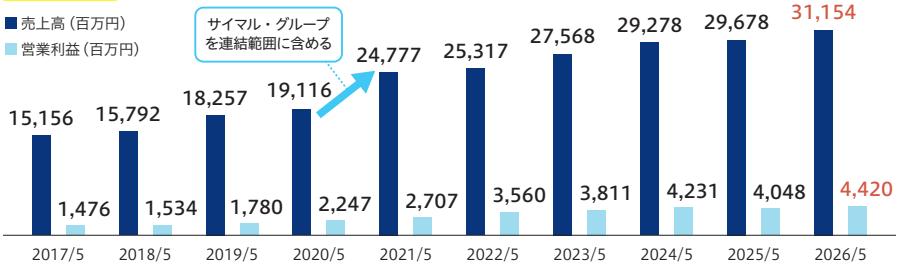
WizLaboにAI機能を搭載
WizLabo Data Driven Disclosure × AI

日立製作所との共同開発。
企業内に分散する非財務（サステナビリティ）情報と財務データを一元管理し、SSBJ基準に準拠した開示を一気通貫で支援。

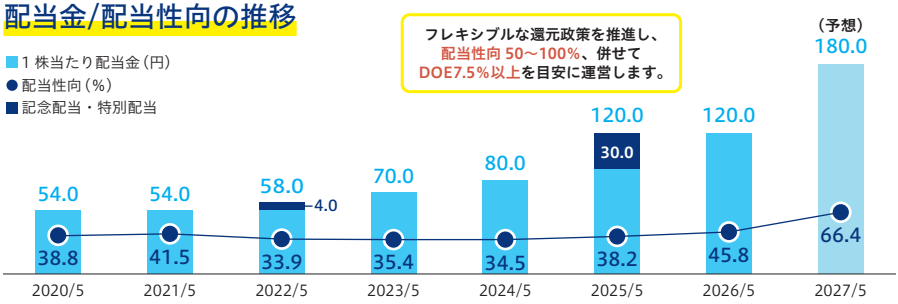




業績推移



配当金/配当性向の推移



会社概要（2026年5月31日現在）

商号	株式会社TAKARA ＆ COMPANY ※2019年12月よりHD化し「宝印刷㈱」から商号変更 ※新設分割により新たに「宝印刷㈱」を設立・事業承継
本社所在地	東京都豊島区高田三丁目28番8号 （JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線「高田馬場駅」徒歩7分）
代表	堆 誠一郎（代表取締役社長）
創業	1952年（創業74周年）
上場市場	東京証券取引所プライム市場 （証券コード7921）
決算月	5月
従業員数	1,284名（連結）
グループ会社	21社
事業内容	グループ会社の経営戦略の立案および管理・付帯業務



TAKARA & CO.
グループマスコット
キャラクター
ルカ（瑠海）

名前の由来

グローバルに展開するTAKARA＆CO.グループに「光をもたらす者（ルカの語源）」としての使命を果たす

特徴

TAKARA&COMPANYに興味津々のイルカ
舵輪のロゴ入りポシェットがお気に入り

TAKARA & COMPANY

Tech Driven Value for Growth

FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C022915 www.fsc.org

GREEN PRINTING JFPI P-A10007
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。